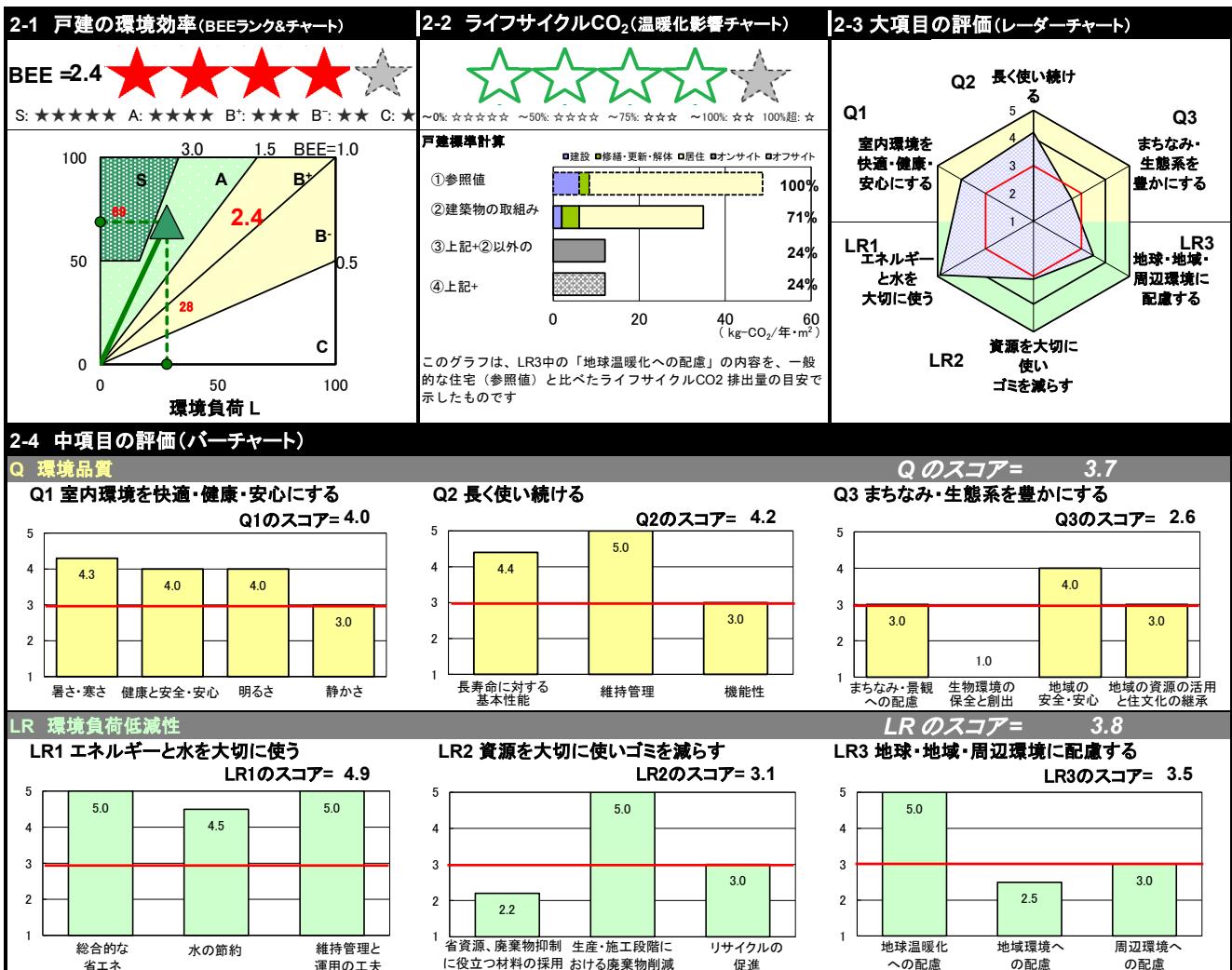




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年11月	竣工		持ち込み家電等	仮
建設地	横浜市保土ヶ谷区新桜ヶ丘一丁目			外構の仕様	一部確定
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	6 地域		家電製品は一部未定の段階での評価		
構造・構法	木造	確定			
階数	地上2階建	確定			
敷地面積	182 m <sup>2</sup>	確定	評価の実施日	2020年6月11日	
建築面積	58 m <sup>2</sup>	確定	作成者	高部 誠也	
延床面積	112 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2020年6月11日	
世帯人数	4	確定	確認者	山口 紗季	



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
●各居室の南側に大開口を設け、自然採光のとれる明るい居住空間を計画した		横浜市ZEH普及推進補助事業
●外壁には陶板のものを採用し、自然素材の風合いを活かした住宅を計画した		
<b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b>		<b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b>
●断熱等性能等級4を満たす断熱仕様による冷暖房負荷の低減		●周辺の民家との調和を図り、落ち着いた色彩の外壁等を採用
●換気、通風、日射調整への配慮		
●室内の建材は全てルミアルティック放散等級F★★★★クリア		
●1階の開口部、2階のハムニーに面する開口部に防犯ガラスを設置		
<b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b>		<b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b>
●断熱等性能等級4を満たす断熱仕様の採用に加え、4.5kWの太陽光発電装置を屋根に搭載		●道路面角部に樹木を設け、街並みにおける緑化に寄与
●燃料電池の採用		
●照明ランプは全てLEDを採用		
<b>Q2 長く使い続ける</b>		<b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b>
●地盤調査に基づき地盤補強を行い、安全な基礎方式を採用		●工場生産で発生する廃材の再資源化に取り組み、2002年から「単純燃却ゼロ・埋立て処分ゼロ」のゼロエミッションを達成、リサイクルの質に配慮しながら維持・継続している
●耐震等級3を満たす堅牢な木造軸組工法の採用		●解体・施工現場からの廃棄物はプレカット部材の採用や建設リサイクル法に基づいた再資源化を行うことで削減に努めている
●長期優良住宅認定基準を満たす劣化対策を行い、構造躯体を高耐久化		



#### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 47 %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEI=0.53

②家電・暖房機器による省エネを行っている

③パナソニック製HEMS AiSEG2を設置

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤主要な居室において適切な冷房計画を行い、ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦日本住宅性能表示基準「1-1,1-2 耐震等級3」を満たす

⑧日本住宅性能表示基準「3-1 劣化対策等級3」を満たす

⑨日本住宅性能表示基準「2-1 感知警報装置設置等級4」を満たす

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)



太陽光利用

燃料電池・コジェネレーション・

蓄電池・

エネルギー・マネジメントシステム導入

HEMS

—

# CASBEE® 横浜[戸建] 評価結果 | 2-031



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)

個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート		重点項目	評価点	重み係数	全点
配慮項目					
Q <sub>H</sub> すまいの環境品質			-	-	3.7
Q <sub>H1</sub> 室内環境を快適・健康・安心にする			-	0.45	4.0
1 暑さ・寒さ			4.3	0.50	4.3
1.1 基本性能			4.2	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	1	健康・安心	④暑さ・寒さ	5.0	0.80
1.1.2 日射の調整機能	2	健康・安心	④暑さ・寒さ	1.0	0.20
1.2 夏の暑さを防ぐ			4.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす	1			3.0	0.50
1.2.2 適切な冷房計画	2			5.0	0.50
1.3 冬の寒さを防ぐ			5.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画	1			5.0	1.00
2 健康と安全・安心			4.0	0.30	4.0
2.1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑤健康と安全・安心	5.0	0.25
2.2 適切な換気計画		健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25
2.3 犯罪に備える		健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25
2.4 災害に備える		防 災	⑦災害に備える	5.0	0.25
3 明るさ			4.0	0.10	4.0
3.1 曜光の利用			4.0	1.00	-
4 静かさ			3.0	0.10	3.0
Q <sub>H2</sub> 長く使い続ける			-	0.30	4.2
1 長寿命に対する基本性能			4.4	0.50	4.4
1.1 車体		防 災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30
1.2 外壁材				3.0	0.10
1.3 屋根材、陸屋根				4.0	0.10
1.4 自然災害に耐える		防 災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30
1.5 火災に備える				3.7	0.20
1.5.1 火災に耐える構造	1			3.0	0.65
1.5.2 火災の早期感知	2			5.0	0.35
2 維持管理			5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ			5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制			5.0	0.35	-
3 機能性			3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り			4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応			2.0	0.50	-
Q <sub>H3</sub> まちなみ・生態系を豊かにする			-	0.25	2.6
1 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑩まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30
2 生物環境の創出			1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化		地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	1.0	0.65
2.2 生物の生息環境の確保		地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	1.0	0.35
3 地域の安全・安心		防 災	⑨地域の安全・安心	4.0	0.20
4 地域の資源の活用と住文化の継承				3.0	0.20
LR <sub>H</sub> すまいの環境負荷低減性			-	-	3.8
LR <sub>H1</sub> エネルギーと水を大切に使う			-	0.35	4.9
1 総合的な省エネ			5.0	0.75	5.0
1.1 車体と設備による省エネ		省エネルギー性能	①建物の工夫	5.0	0.90
1.2 家電・厨房機器による省エネ		省エネルギー性能	②設備の性能	5.0	0.10
2 水の節約			4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備			5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用			3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫			5.0	0.10	5.0
3.1 住まい方の提示		省エネルギー性能	③維持管理と運用	5.0	0.50
3.2 エネルギーの管理と制御		省エネルギー性能	③維持管理と運用	5.0	0.50
LR <sub>H2</sub> 資源を大切に使いごみを減らす			-	0.35	3.1
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用			2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体			3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅	1			3.0	1.00
1.1.2 鉄骨系住宅	2			3.0	-
1.1.3 コンクリート系住宅	3			3.0	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎			3.0	0.20	-
1.3 外装材			1.0	0.20	-
1.4 内装材			1.0	0.20	-
1.5 外構材			3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減			5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)			5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)			5.0	0.33	-
2.3 施工段階			5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進			3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供			3.0	1.00	-
LR <sub>H3</sub> 地球・地域・周辺環境に配慮する			-	0.30	3.5
1 地球温暖化への配慮			5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制			2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全			3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減			3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善			3.0	0.50	-